

全戸配布

2024  
7月号

# 芸術村かわらばん

7月の休館日

定例休館日(月)(火)

1(月)、2(火)  
8(月)、9(火)  
16(火)

\*15(月)祝は開館

22(月)、23(火)  
29(月)、30(火)



急に暑くなることもある近頃。そんな日は薬味をたっぷりかけたそうめんがおいしいですね。

## にしあいづ まちなか美術展

伊藤善創コレクション

西会津町  
70周年  
記念企画

西会津町出身の伊藤善創さんより、パブロ・ピカソ、ルノワールなど、19世紀から20世紀にフランスで活躍した巨匠の作品を中心に、85点の作品が寄贈されました。3月22日に町長臨席のもと、執り行われた寄贈式では、伊藤さんより寄贈された全作品が並べられ、作品1点1点を説明してまわられました。



寄贈された作品は、左記の2箇所で展示されます。世界の名作をぜひ観にいらしてください。

**会場① 西会津国際芸術村** 10時〜17時

会期：7月13日(土)〜8月31日(土)

**会場② 旧川口屋タンス店** 10時〜15時

会期：7月26日(金)〜9月1日(日) \*上記の金土日およびお盆(8月13〜16日)

\*会場ごとに、会期・時間が違いますのでご注意ください。



「想像の中の肖像」パブロ・ピカソ



## 滞在アーティストインタビュー

彫刻家 アラン・ケルシアさん (フランス)



「どんな作品を制作していますか？」  
私のメインの制作は彫刻ですが他にも様々な制作をします。デザインも演劇も好きですのでそれらを取り入れて演劇、写真、ペイントをすることもあります。

「どうして西会津に？」

長いこと日本には来たいと思っていて、日本に魅了されていました。私は日本のものの作り方や、彼らがどんな考えのもとに創造するのかにすごく強い興味を持っていました。ずっと日本に行く機会を探していて、いくつかあった滞在先の1つが西会津国際芸術村だったんです。調べてみると、そこは大きな都市部でもないし静かで自然な雰囲気、自分にとってとても心地いい場所だと思いました。

私の作品では、聖なるものと俗なるものの境界がテーマの1つなのですが、日本に来るまでのやり取りで、芸術村のディレクターの矢部さんは、芸術村の目指すものや日本の民話や民間伝承が、作品制作の参考になるのではと言ってくれました。神道や仏教の中にも見られる人間と自然との関わりに興味があって、彼とその話をしてみたいと思いました。

「西会津で過ごしてみてどうですか？」

来てみて、そんなに驚かなかったけれど、芸術村の人たちは私にとってもとても親切にしてくれたのでそれはとても良い驚きでした。私に何が必要か、何がしたいのかに気を配ってくれるし、何かを探しにどこかへ行きたいときに快くOKしてくれ、アートの世界にとっても理解を示してくれていると感じます。

もし東京や京都のように大きな都市にいたら、わからなかったであろうところに辿り着けてとても嬉しく思っています。働いている人、農家の方や他の方々など



を見たけれど、私が出会った人はみんな優しく。それから地上で生きるといふことにとっても近いやり方で米を作ることだったり、米に関する文化がここにはとてもたくさんあります。彼らがすることには、とても心配りがあるし、それは日本人たちを観察してとてもおもしろい瞬間です。それは私が本当に、日本に来て発見したかったことです。滞在期間の3ヶ月はまだ始まったばかりですが、これからもっとおもしろい発見をもらえるんじゃないかと思います。

\*アランさんは8月11日まで滞在予定。作品の展示も予定しています。まちなかで見かけたら、ぜひ声をかけてみてくださいね。

## やどりぎ案内2024 土地への宿り方

―石を持ち上げる、確かめる。―

日程：8月1日(木)〜8月31日(土)

場所：西会津国際芸術村、中町集落内各所

「やどりぎ案内」は、ひとりの美大生から始まった東京の美術大学の学生を中心とした芸術家の集い。

奥川・中町集落で土地とそこで暮らす人とともに作品をつくることを目指し、アートプロジェクトを実施しています。

「これまでの展示」



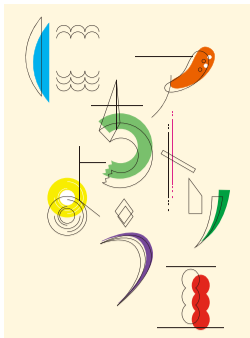
22年、かつてあったかもしれない権現堂を土地の素材を使って2日間だけ立ち上がらせた「もの語りの層」

西会津に関わりながら作品制作をする山田ゆりさんとの合同展示「あの山の向こうかわ」

23年、自作の屋台をつくり、移動する拠点を引っ張って地域の人たちとアートで交流を深めた「えんの繋ぎ目」

24年は「土地への宿り方」と題して、作品制作・展示を行います。作品制作に限らず、田植えや人足などの機会にも西会津に足を運び、交流を続けて4年目を迎える彼らの土地への眼差しを、ぜひ体感にいらしてください。





“にちようアトリエ”は、「美術」を通じて子供たちに創作・表現を楽しんでもらう場所。



6月2日のアトリエで、紙コップや割り箸、紐などを... 6月の製作には来れなかったお子様もぜひお待ちしております。

6月2日のアトリエで、紙コップや割り箸、紐などを使い、操り人形を製作しました。2時間たっぷり使っても完成せず、時間を延長して納得がいくまで作りま... 6月のアトリエ

にちようアトリエ7月予定表

- 7/7 「夏だもの！帽子を作っちゃおー！」
7/14 「いざ！操り人形で演目をやります！」
7/21 おやすみ
7/28 「冷たくて気持ちいい★氷遊び！」

スタッフおすすめ 今月の本

半径50メートルのセカイ

著：佐藤オオキ 出版：CCCメディアハウス



些細な日常をいつもとは違う角度で見ることによって面白い発想やデザインが生まれていく本です。

芸術村スタッフオオキの本を紹介。今月は星が担当します。デザイナー・佐藤オオキさんの日常の些細な物事から、気になったものやヒントをそのまま書き記したものです。



今年は雪が少なく、春先の水不足の心配もされましたが、くわえて短い梅雨になりそうな予報が出ていますね。先日、梅雨明けに咲くと言われるネムの木の花が咲いていて、セミが鳴いていました。



インスタ日記



草木をまとめて山のかみさまが今年も無事終了。草木をまとおうという体験と共に、スタッフが楽しみにしているのが、rucoto・佐藤千裕さんによるランチです。

#芸術村の日常 #草木をまとめて山のかみさま

マワリテメクハ \*季節の薬膳ノート\* 「ゴーヤ」 薬膳の基本となる考え方である五行学説によれば、夏は「心(臓)」に影響が出やすい季節。この「心」は、①血や血管を司る、②精神の安定を図るといった機能を持ち、夏の暑さで「心」機能が乱れると、血圧が上がる・よく眠れない・動悸がする。なぜか気持ちが悪く落ち着かない。といった症状がおこりやすくなります。

こんな食べ方がオススメ

ゴーヤの梅肉和え

材料(ゴーヤ、梅干し、鰹だし、きび砂糖、醤油・白ごま) ゴーヤの苦味に、梅干しの酸味、カツオ節のうま味が合わさって、美味しく身体の熱を取り去ります。



【お問い合わせ】西会津国際芸術村 tel: 0241-47-3200 mail: niav.public@gmail.com 〒969-4622 福島県耶麻郡西会津町新郷大字笹川上ノ原道上 5752

西会津国際芸術村は今年で20周年



【HP】 【Instagram】 【Facebook】 【YouTube】

